

令和6年産 仙南稲作情報（第3号）

令和6年7月3日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3496 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

- 令和5年並に出穂時期が早まることが予測されます。
- 中干しは、幼穂形成期前までに終わらせましょう。
- 追肥（穂肥）のタイミングを逃さずに実施しましょう。
— 幼穂長と葉色を見て、適期・適量の追肥をしましょう！ —

1 気象経過

- ・6月23日頃に梅雨入りしたが、平年に比べ降雨量は少ない（37%）。また、平年に比べて日照時間が長く（140%）、高温傾向（平均気温+2.0℃）で推移した。

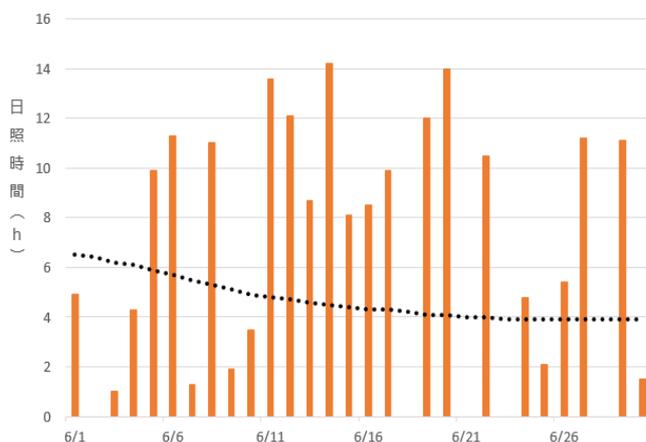
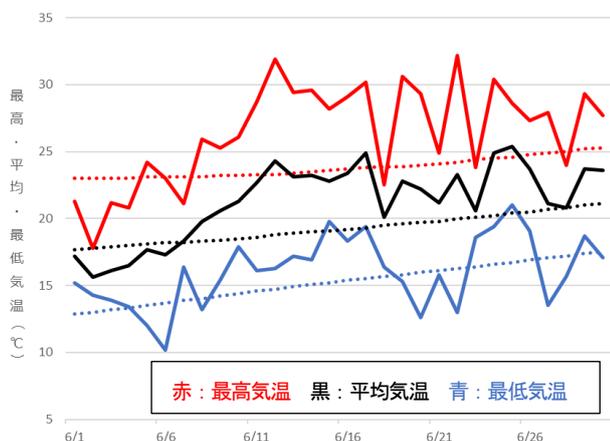


図1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月30日）

※仙台管区气象台（6/27発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方太平洋側の日照時間・降水量はほぼ平年並、気温は高い見込みです。期間の全体（6/29～7/26）を通して高くなる見込みです。

2 管内の生育状況

（1）【7月1日調査結果】

平年に比べて、草丈は長く、葉数が進んでいる傾向。移植の遅いほ場や西部丘陵地帯以外では有効茎数が確保されている。一部で幼穂形成期に達している。

- ・南部平坦の「ひとめぼれ」は、草丈は平年より長く、葉数は平年より多くなっており、有効茎数は概ね確保されています。
- ・今回、南部平坦の「ひとめぼれ」調査区では幼穂長が1mm以上に達したため、既に幼穂形成期に達していると考えられます。

- ・南部平坦の「つや姫」は、5月上旬の移植では有効茎数が確保されていますが、5月下旬の移植では有効茎数の確保には至っていません。
- ・西部丘陵の「ひとめぼれ」は、草丈は長く、茎数と葉数は平年並で推移しており、まもなく有効茎数が確保されるとみられます。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

表1 管内の生育調査結果（7月1日）

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/12	5/11	60.7	109%	97%	395	86%	84%	11.5	+0.8	+0.4	41.8	-0.4	-0.2
2	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/18	5/18	48.4	108%	103%	316	100%	92%	9.9	+0.0	-0.5	40.6	+0.7	-0.7
「ひとめぼれ」平均				5/15	5/14	54.6	109%	100%	356	93%	88%	10.7	+0.4	-0.0	41.2	+0.2	-0.4
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/24	5/24	45.5	93%	95%	221	49%	52%	7.9	-1.5	-1.7	41.8	-2.1	-0.2
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/2	58.9	104%	97%	487	101%	89%	9.7	-0.7	-0.7	40.0	-3.7	-6.8

◆山間高冷「やまのしずく」は、7月12日頃発行の稲作情報(第4号)から結果を掲載予定。

◆平年値は前5か年(R元~R5)の平均値

※白石市「ひとめぼれ」は今年度から調査ほ場を変更しているため、平年比・差や前年比・差は参考。

※R4年度の角田市「つや姫」は葉身が細く、葉色を計測できなかったため、平年値から除外している。

※村田町「つや姫」は調査5年目のため過去4年の平均値を平年値とした。

(2) 「だて正夢」(粘りの強い低アミロース米)

- ・草丈は平年より長く、葉色はやや淡く、葉数は多い。茎数は平年より少ないが、既に目標茎数に達しており、幼穂形成期までに中干しを終了する必要があります。

表2 だて正夢の生育調査結果（7月1日）

ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
			本年	前年	(cm)	平年値	平年比	(本/m ²)	平年値	平年比	(枚)	平年値	平年差	(GM)	平年値	平年差
蔵王町	西部丘陵	だて正夢	5/22	5/19	57.0	52.3	109%	386	454.4	85%	10.2	8.9	+1.3	44.2	45.8	-1.6

3 今後の管理

【水管理・中干し】

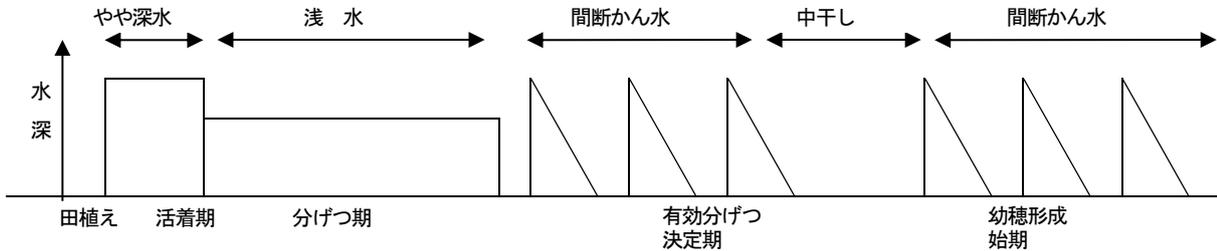
□ 中干し

- ・今年、6月中旬から好天が続いていることにより、有害なガスによる障害が懸念されるため、適期の中干しを心掛けましょう。
- ・西部丘陵以上の山間高冷地や「コシヒカリ」等の晩生品種を作付けしているなど、生育ステージの遅いほ場では、生育状況を確認し目標茎数を確保したら、有害ガスの除去による根の活力向上、土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょ。
- ・中干しは、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終わるようにしましょう。

□ 中干し終了後の水管理

- 急に湛水状態を続けると土壌の還元が進み、酸素不足になり根を傷めやすくなります。
- 中干し終了直後は、走り水程度（2日程度で落水する程度）とし、落水したら2日程度乾かしてから、かん水し、徐々に間断かん水に移行しましょう。

※水管理のイメージ図

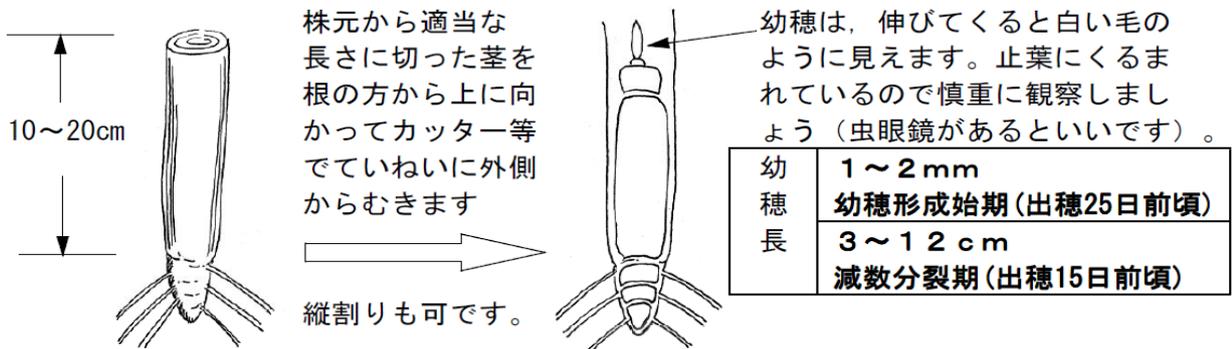


【追肥】

□ 幼穂長を確認して、適期に追肥をしましょう。

- 追肥は、幼穂長を調べて、「幼穂形成期」と「減数分裂期」に行います。
- 幼穂形成期の追肥は、穂数と1穂粒数の増加に有効です。
しかし、窒素供給が過剰だと、下位節間を伸長させ倒伏の要因になったり、粒数過剰となり登熟不良を招きます。
- 減数分裂期の追肥は、登熟初期の栄養改善により初期登熟を向上させます。

□ 幼穂長の調べ方について ※ 1ほ場で5～10本程度、調べます。



□ 追肥をするか、しないかの判断について

- 葉色を測定し、葉色が目安の範囲内か淡ければ追肥可能です！
- 葉色：「葉緑素計（SPAD-502）」を用いますが、比較的安価に入手できる「葉色板（カラースケール）」（富士平工業の7段階表示のもの）を使うこともできます。

表3 穂肥要否判定指標値及び目安

品種名	幼穂形成期			減数分裂期		
	葉色		施用時期と窒素量	葉色		施用時期と窒素量
	葉色版	葉緑素計		葉色版	葉緑素計	
ひとめぼれ	5.0~5.5	38~40	出穂25~20日前 1kg/10a	4.5~5.0	35~37	出穂15~10日前 1kg/10a
つや姫・ まなむすめ	4.5~5.0	35~37	出穂25~20日前 2kg/10a	—		
ササニシキ	—			3.4~3.7	32~34	出穂15~10日前 1~1.5kg/10a
だて正夢	—			5.0	37~39	出穂15~10日前 2kg/10a

表4 葉色版（単葉）と葉緑素計の関係

葉色版(単葉)	4.5		5.0			5.5		6.0			6.5				
葉緑素計	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

※幼穂形成期における施肥判断の目安



※「だて正夢」の追肥について

- ・「だて正夢」は、「ひとめぼれ」と比べて葉色が濃い特性があり、2ポイント程度高いのが適正です。
- ・追肥は、初期登熟を向上させるため、減数分裂期に窒素成分で2kg/10a 施用が基本です。
- ・有効茎数（目標 350~400 本/m²）の不足が予想される場合は、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で1kg/10a ずつ施用してください。
- ・生育ステージにおける生育量、葉色等は以下の表を参考にしてください。

表5 「だて正夢」の生育ステージにおける生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈(cm)	64~70	76~82
茎数(本/m ²)	390~460	380~420
葉色 (SPAD 値)	40~42	37~39
葉色板 (単葉)	5.5~6.0	5.0

※「だて正夢」栽培暦より
(収量 540kg/10a)

【 病 害 虫 防 除 】

①葉いもち

- ・発生時期（発生開始期）は「平年並」（7月第1半旬）、発生量も「平年並」となっています（6月24日 病害虫防除所発表）。
- ・箱処理剤の効果が弱まってきています。また、7月は高温傾向と予報されていますが、水田をこまめに見回り、いもち病の早期発見、早期防除に努めましょう！

②斑点米カメムシ類

- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類が水田内に生息していますので、水田内の雑草防除を行いましょう。
- ・水田周辺の雑草地、農道、畦畔などの草刈りは、出穂 10 日前まで（7 月中旬まで）に終わるようにしましょう。



< 斑点米カメムシ類 >

※本県の主要種：アカスジカスミカメ

斑点米カメムシ類の防除対策

5～6月	7月	8月	9月
移植期		穂揃期	7月10日後
←		→	
● 水田内の雑草対策	● 畦畔・雑草地の草刈管理	● 牧草地の適正な刈り取り管理	● 薬剤防除（1回目） ● 薬剤防除（2回目）

- ❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。
- ❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

③イネカメムシ



農研機構

© 2021 NARO

- ・令和5年度に、福島県内でイネカメムシの発生が確認されました。イネカメムシは、斑点米や不稔による減収の被害を生じさせます。
- ・イネカメムシの体長は **12～13 mm程度**です。イネカメムシや形状がよく似たカメムシを見つけた場合は、大河原農業改良普及センターや県病害虫防除所へ情報提供をお願いします。

※A4で印刷した場合、写真の左側に位置する虫が原寸大（約12mm）となります。

大河原農業改良普及センター先進技術第一班 TEL: 0224-53-3496
病害虫防除所予察班 TEL: 022-275-8982

4 直播栽培における管理のポイント

【7月1日調査結果】

- ・6月中旬～下旬の高温・高日照により生育が回復し、莖数は平年値に近づいてきています。葉数と葉色は平年並となっています。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/m²）の80%程度を確保したら、中干しを行いましょう。

表6 生育調査結果（7月1日）

ほ場所在地	品種	播種月日		苗立数(本/m ²)		草丈			莖数			葉数			葉色		
		本年	前年	本年	前年	(cm)	平年値	平年比	(本/m ²)	平年値	平年比	(枚)	平年値	平年差	(GM)	平年値	平年差
蔵王町	ひとめぼれ	5/10	5/10	52.5	47.6	42.1	40.9	103%	314	472	67%	8.8	8.8	±0.0	43.8	43.8	+0.0

①水管理

- 目標穂数（ひとめぼれ：450本/m²）の80%程度を確保したら、溝きり・中干しを実施しましょう。
（畝間30cmで1mあたり「120本」だと「400本」になります。）
- 中干しの程度は、移植栽培の時よりも強めに、田面に亀裂が入る程度に行います。ただし、いもち病予防剤を施用する場合は、少なくとも3日程度は湛水状態を保った後、中干しを行います。
- 中干し以降の水管理は、基本的には移植栽培と同じですので、原則として間断かん水とします。

②雑草防除

- 直播栽培は、移植栽培に比べ雑草害を受けやすいので、防除時期を逸しないよう適期防除を心掛けましょう。
- 直播栽培として登録のあるものしか使用できないので注意しましょう。

③病害虫防除

【葉いもち】

- 水田をこまめに見回り、発生が見られた場合にはただちに防除に努めましょう。
- 一旦発病すると移植栽培より急激に病勢が進展するケースが多いので、初発の確認が遅れないようしましょう。

【イネツトムシ（イチモンジセセリ）】

- イネツトムシは、直播栽培で多発し、大きな被害を及ぼすことがあります。
- 成虫は7月中旬から、葉色の濃いほ場を中心に産卵を始めます。
- 直播栽培では、この時期の葉色は濃く、成虫が集中して産卵するので、移植栽培に比べて被害に遭いやすくなります。
- 被害に気がついた時には、殺虫剤の効果が出にくい中～老齢虫になっており、防除適期を逃していることがよくありますので、発生予察情報や現場の発生状況をもとに、「8月上旬頃」の「若齢幼虫の発生最盛期」に防除しましょう。

○令和6年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

- 農薬の使用に当たっては、
農薬のラベルをよく読み、周辺へ配慮し、飛散防止対策を徹底しましょう！
- 最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。
(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html)

